

オートアクセル



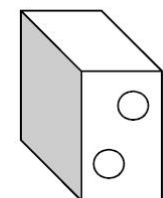
オートアクセル装置

作業時の負荷に応じて、エンジン回転数をコントロールすることにより、**燃料消費率**の向上を図ります。

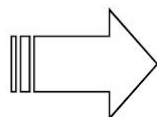
従来の機構 エンジンには常に固定された回転数で回っています。



オートアクセル 非作業時(待機)など作業圧力が低い場合にはアイドル状態に移行します。



オートアクセル



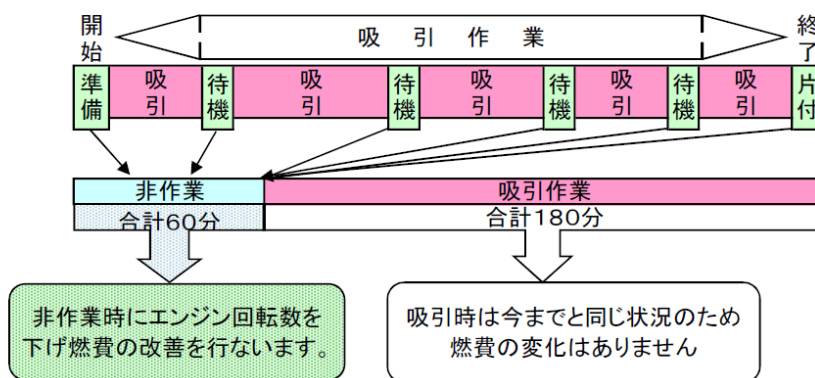
- ①燃費向上
 - ②騒音値軽減
 - ③作業員の負担軽減
- が望めます。

オートアクセルによる燃費向上効果

非作業時(待機時)にエンジン回転数を下げ、ムダな燃料消費をカットします。
(燃料消費率の少ないアイドリング状態に移行します)

燃費向上シミュレーション

1. 非作業時間の累計・・・オートアクセルの作動時間の累計です。



2. 消費率データ

・・・回転数一定とオートアクセル作動時の燃費比較です。

日野レンジャー 4トン 220Ps車 データ

| | 非作業時 | | 吸引作業時 |
|---------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| | オートアクセル | 通常 | 共通 |
| エンジン回転数 (rpm) | 650rpm (アイドリング) | 1450rpm (最高回転数) | 1450rpm (最高回転数) |
| 真空圧 (kPa) | -10 | -20 | -96 |
| 燃料消費率 (L/時間) | 1.8 | 8.7 | 17.2 |

※消費に関するデータは社内測定値(参考値)です。

3. 消費量計算・比較

・・・待機時に回転数を一定で過ごした場合とオートアクセル作動の場合の燃料消費量の比較です。

消費量(L) = 時間(非作業時) × 消費率(L/時間)

従来機構 消費量 = 時間 × 消費率 = 1(時間) × 8.7(L/時間) = 8.7(L)

オートアクセル 消費量 = 時間 × 消費率 = 1(時間) × 1.8(L/時間) = 1.8(L)

従いまして待機時に回転数一定で過ごした場合との比較では
8.7(L) - 1.8(L) = 6.9(L) の燃費改善となります。